

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2021年5月25日から2031年9月22日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案し決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

シュローダー・ グローバル・リート ESGフォーカス・ファンド (予想分配金提示型)

運用報告書(全体版)

第17期 (決算日	2022年10月20日)
第18期 (決算日	2022年11月21日)
第19期 (決算日	2022年12月20日)
第20期 (決算日	2023年1月20日)
第21期 (決算日	2023年2月20日)
第22期 (決算日	2023年3月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)」は、2023年3月20日に第22期の決算を行いました。

ここに、謹んで設定来の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

Schroders
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	準 価 額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み騰落 期中率		
(設定日)	円		円		%	百万円
2021年5月25日	10,000		—		—	309
1期(2021年6月21日)	10,365		0		93.0	1,268
2期(2021年7月20日)	10,371		50		93.7	2,015
3期(2021年8月20日)	10,454		50		98.7	2,526
4期(2021年9月21日)	10,276		50	△	98.1	2,995
5期(2021年10月20日)	10,974		50		98.3	3,578
6期(2021年11月22日)	11,062		100		97.8	4,561
7期(2021年12月20日)	10,815		50	△	98.3	5,197
8期(2022年1月20日)	10,695		50	△	98.8	5,725
9期(2022年2月21日)	10,328		0	△	98.1	5,744
10期(2022年3月22日)	10,980		50		97.9	6,182
11期(2022年4月20日)	11,743		100		99.1	6,727
12期(2022年5月20日)	10,044		0	△	97.9	5,942
13期(2022年6月20日)	9,873		0	△	97.8	5,957
14期(2022年7月20日)	10,338		0		97.7	6,318
15期(2022年8月22日)	10,864		100		98.9	6,717
16期(2022年9月20日)	10,224		0	△	97.7	6,428
17期(2022年10月20日)	9,590		0	△	98.1	6,118
18期(2022年11月21日)	9,668		0		98.0	6,216
19期(2022年12月20日)	9,176		0	△	96.8	5,864
20期(2023年1月20日)	9,178		0		98.0	5,865
21期(2023年2月20日)	9,798		0		98.4	6,251
22期(2023年3月20日)	8,888		0	△	98.1	5,666

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 入 比 率
			騰 落	率	
第17期	(期 首) 2022年 9月20日	円 10,224		% —	% 97.7
	9月末	9,376	△8.3		97.5
	(期 末) 2022年10月20日	9,590	△6.2		98.1
第18期	(期 首) 2022年10月20日	9,590		—	98.1
	10月末	9,649	0.6		98.0
	(期 末) 2022年11月21日	9,668	0.8		98.0
第19期	(期 首) 2022年11月21日	9,668		—	98.0
	11月末	9,574	△1.0		97.7
	(期 末) 2022年12月20日	9,176	△5.1		96.8
第20期	(期 首) 2022年12月20日	9,176		—	96.8
	12月末	8,962	△2.3		96.6
	(期 末) 2023年 1月20日	9,178	0.0		98.0
第21期	(期 首) 2023年 1月20日	9,178		—	98.0
	1月末	9,635	5.0		98.2
	(期 末) 2023年 2月20日	9,798	6.8		98.4
第22期	(期 首) 2023年 2月20日	9,798		—	98.4
	2月末	9,724	△0.8		98.4
	(期 末) 2023年 3月20日	8,888	△9.3		98.1

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

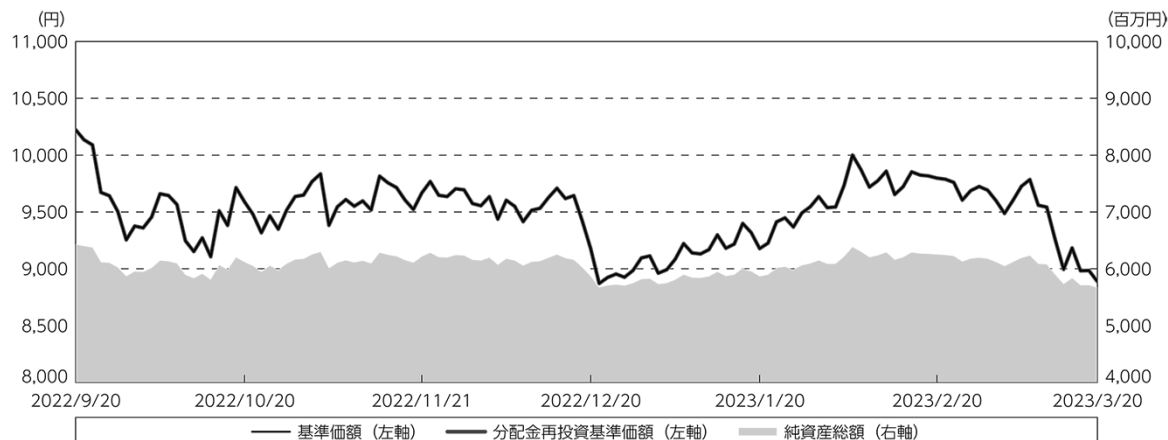
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2022年9月21日～2023年3月20日）

作成期間中の基準価額等の推移



第17期首：10,224円

第22期末：8,888円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△13.1%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年9月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

当作成期首10,224円でスタートした基準価額は、8,888円（分配後）で当作成期末を迎え、当作成期首比13.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当作成期、ファンドのリターンはマイナスとなりました。国別では、主に香港への配分が上昇要因となった一方、米国や日本への配分が下落要因となりました。セクター別では、データセンターリート、工業用リートへの配分が上昇要因となった一方、オフィスリート、集合住宅用リート、一戸建て住宅用リートへの配分が下落要因となりました。

投資環境

当作成期、世界の不動産株式およびリート市場は、下落しました。

2022年9月、米連邦準備制度理事会（FRB）が3会合連続で75bpの利上げを実施するなど、各国中央銀行の金融引き締めによる景気後退懸念から世界の不動産株式およびリート市場は10月中旬にかけて下落しました。12月中旬にかけて世界の不動産株式およびリート市場は、米国のインフレ率がピークに達した可能性があり、FRBが年内に利上げペースを鈍化させるとの見方が強まったことから大きく上昇しましたが、12月末にかけては、各国中央銀行のタカ派姿勢や景気後退懸念から世界の不動産株式およびリート市場は再び調整しました。欧州中央銀行（ECB）、イングランド銀行（BoE）、FRBは事前の予想通り利上げを実施した一方で、日銀が金融政策を一部修正し、イールドカーブ・コントロールの長期金利変動幅を0.5%に拡大したことから、円高の進行が見られました。

2023年1月、FRBの金融引き締めペースが減速するとの期待から米国長期金利は低下し、また欧州では天然ガスの価格下落や中国のゼロコロナ政策解除から投資家心理を改善し、世界の不動産株式およびリート市場は堅調に推移しました。2月以降は、米国・欧州でインフレ率の高止まりを背景に利上げの継続が意識され、債券市場で長期国債利回りが大幅に上昇し、米国でシリコンバレーバンク（SVB）の破綻をきっかけとした金融機関の信用不安が高まり、不安定なマクロ環境が継続したことから世界の不動産株式およびリート市場は下落しました。

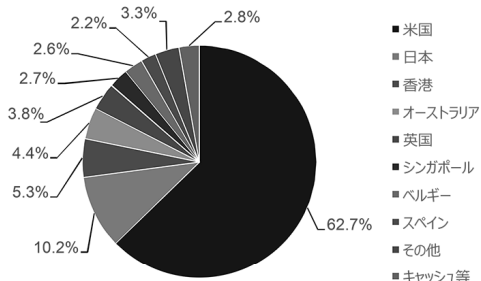
当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券の運用について

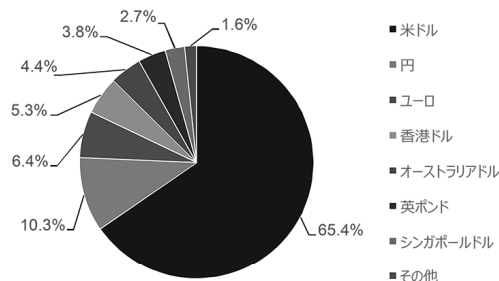
当ファンドでは、2022年9月にサンフンカイ・プロパティーズ（香港の各種不動産事業）の保有を増加、米国のホテル・リゾート、工業用、住宅用リーートの各セクター内で入替を実施しました。10月にはケッペルDC（シンガポールのデータセンターリート）を新規購入、またVGP（ベルギーの不動産運営会社）とセグロ（英国の工業用リート）の保有を増やし、米西海岸の雇用環境に悪化が見られたキルロイ（米国のオフィスリート）の保有を減少させました。11月は高い配当利回りが期待されるデジタル・リアルティ（米国のデータセンターリート）、米国のオフィスリート内でサンベルト地帯の物件を有するカズンズ・プロパティーズを増加、キルロイを売却しました。12月は消費者心理の悪化を受けて米国の集合住宅用リーートの保有を減少させ、割安な欧州銘柄の保有を増やしました。2023年1月は、健全なバランスシートを有するサイモン・プロパティ（米国の店舗用リート）、アバロンベイ・コミュニティーズ（米国の集合住宅用リート）を新規購入、広告需要の縮小が予想されるアウトフロント・メディア（米国のその他専門リート、広告スペース）、ヘルシンキ市場の需要低迷を受けたコヤモ（フィンランドの不動産運営会社）を売却、また株価上昇に伴い、エクイニクス（米国のデータセンターリート）を一部売却しました。2月はチャーター・ホール・グループ（オーストラリアの各種リート）を新規購入、ハンルン・プロパティーズ（香港の不動産運営会社）の保有を増加させました。

マザーファンドの主要投資対象である
「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ（◆）」の概要

■ 国／地域別組入比率



■ 通貨別組入比率



■ ポートフォリオの特性値

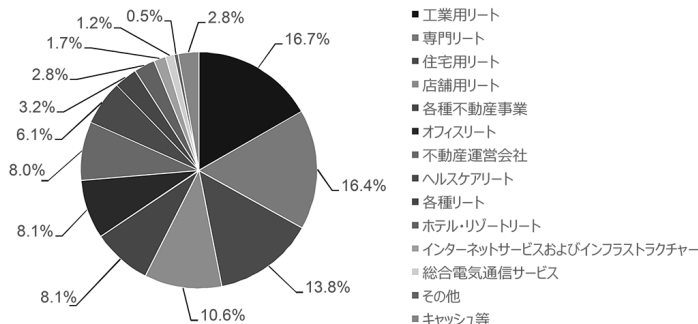
	ポートフォリオ
配当利回り	3.4%

・配当利回りは、過去1年の配当実績と株価から計算しており、上記はポートフォリオにおける平均値です。

■ 資産配分比率

	比率
リート	77.7%
株式	19.5%
キャッシュ等	2.8%
合計	100.0%

■ 業種別組入比率



※組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならないことがあります。

■ 組入上位10銘柄 (銘柄数: 54銘柄)

	銘柄名	国／地域	業種	投資比率
1	パブリック・ストレージ	米国	専門リート	6.2%
2	レックスフォード・インダストリアル・リアルティ	米国	工業用リート	5.6%
3	UDR	米国	住宅用リート	5.2%
4	エクイニクス	米国	専門リート	4.8%
5	サンファンカイ・プロパティーズ	香港	各種不動産事業	3.1%
6	テレノ・リアルティ	米国	工業用リート	3.1%
7	リージェンシー・センターズ	米国	店舗用リート	3.1%
8	ヘルスピーク・プロパティーズ	米国	ヘルスケアリート	2.8%
9	デジタル・リアルティ	米国	専門リート	2.7%
10	キムコ・リアルティ	米国	店舗用リート	2.7%

◆「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス投資証券」のマスターファンドを指します。グラフや表における業種は、GICS(世界産業分類基準) の分類、国／地域別は、原則として当該銘柄が主に取引されている取引所の所在国に基づき、マスターファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、国／地域別、通貨別、業種別の組入比率および組入上位銘柄の各組入比率は、マスターファンドにおける純資産比です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当作成期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2022年9月21日～ 2022年10月20日	2022年10月21日～ 2022年11月21日	2022年11月22日～ 2022年12月20日	2022年12月21日～ 2023年1月20日	2023年1月21日～ 2023年2月20日	2023年2月21日～ 2023年3月20日
当期分配金	—	—	—	—	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,297	1,297	1,297	1,297	1,297	1,297

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

2022年は市場が悪材料を織り込み、ここ数年ではほとんど見られないバリュエーション（価値評価）水準まで下落しました。2022年に大きく売られた、金利に敏感なセクターは、経済活動の鈍化に伴い、FRBが金融引き締めペースを減速するとの期待感から2023年1月に大きく反発、上昇しました。2月には投資先の米国企業の第4四半期決算発表があり、堅調な営業成績、健全なバランスシートを有することが確認されましたが、高止まりする欧米のインフレ率に市場の注目が再び集まり、多くの不動産セクターで新規供給が低水準であるにもかかわらず、これらの強固なファンダメンタルズは投資家から重要視されませんでした。運用チームでは、2023年はマクロ要因から企業の収益や成長性といったファンダメンタルズが注目される局面が来ると考えます。バリュエーションの観点からも、世界の不動産株式およびリート市場について2022年よりも期待感をもって2023年を迎えています。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいて独自のESG分析を利用しています。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年 9 月 21 日～2023年 3 月 20 日）

項 目	第17期～第22期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	78	0.818	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(39)	(0.409)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
（ 販 売 会 社 ）	(37)	(0.393)	
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	
(b) そ の 他 費 用	5	0.055	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.007)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.047)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	・その他は、金銭信託手数料等
合 計	83	0.873	
作成期間の平均基準価額は、9,486円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

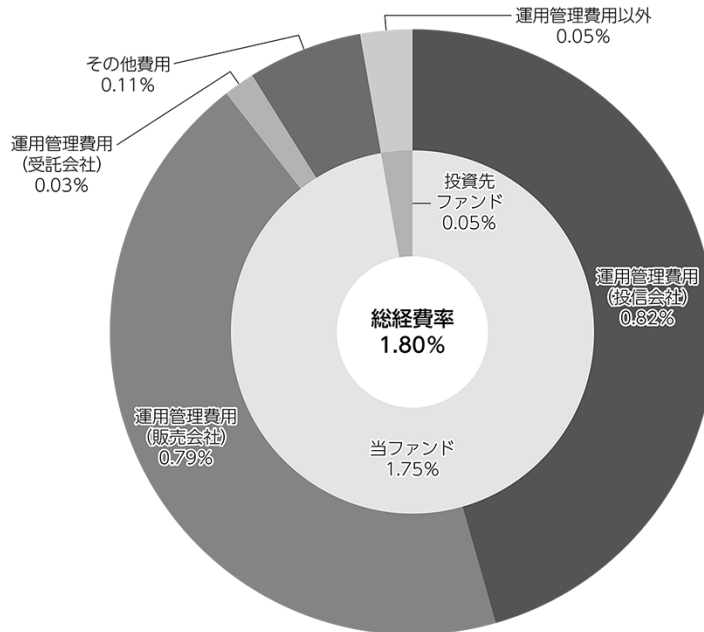
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.80
①当ファンドの費用の比率	1.75
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
 (注) 各比率は、年率換算した値です。
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。
 (注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
 (注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月21日～2023年3月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第17期～第22期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千口 243,902	千円 253,005	千口 215,166	千円 222,883

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月21日～2023年3月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第16期末	第22期末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千口 5,797,645	千口 5,826,381	千円 5,674,312

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月20日現在)

項 目	第22期末	
	評 価 額	比 率
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千円 5,674,312	% 100.0
コール・ローン等、その他	1,972	0.0
投資信託財産総額	5,676,284	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（17,832,053千円）の投資信託財産総額（18,205,582千円）に対する比率は97.9%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=132.68円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第17期末	第18期末	第19期末	第20期末	第21期末	第22期末
	2022年10月20日現在	2022年11月21日現在	2022年12月20日現在	2023年1月20日現在	2023年2月20日現在	2023年3月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	6,131,190,916	6,229,937,461	5,922,505,812	5,879,551,801	6,263,186,339	5,676,284,176
_{シュローター・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド信託}	6,127,314,620	6,225,635,722	5,873,525,963	5,874,448,483	6,260,685,340	5,674,312,662
未収入金	3,876,296	4,301,739	48,979,849	5,103,318	2,500,999	1,971,514
(B) 負債	12,662,099	13,746,237	57,611,194	13,802,299	11,684,177	10,134,260
未払解約金	3,876,296	4,301,739	48,979,849	5,103,318	2,500,999	1,971,514
未払信託報酬	8,236,708	8,854,238	8,091,905	8,155,315	8,609,254	7,652,593
その他未払費用	549,095	590,260	539,440	543,666	573,924	510,153
(C) 純資産総額(A-B)	6,118,528,817	6,216,191,224	5,864,894,618	5,865,749,502	6,251,502,162	5,666,149,916
元本	6,379,871,573	6,429,345,185	6,391,678,702	6,391,233,706	6,380,564,741	6,374,832,342
次期繰越損益金	△ 261,342,756	△ 213,153,961	△ 526,784,084	△ 525,484,204	△ 129,062,579	△ 708,682,426
(D) 受益権総口数	6,379,871,573口	6,429,345,185口	6,391,678,702口	6,391,233,706口	6,380,564,741口	6,374,832,342口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,590円	9,668円	9,176円	9,178円	9,798円	8,888円

[元本増減-第17期から第22期]

第17期首元本額 6,287,774,882円

第17～第22期中追加設定元本額 278,103,501円

第17～第22期中一部解約元本額 191,046,041円

○損益の状況

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	2022年9月21日～ 2022年10月20日	2022年10月21日～ 2022年11月21日	2022年11月22日～ 2022年12月20日	2022年12月21日～ 2023年1月20日	2023年1月21日～ 2023年2月20日	2023年2月21日～ 2023年3月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	△ 389,755,006	60,047,780	△ 306,185,028	10,181,056	404,026,354	△ 569,564,369
売買益	1,015,615	62,851,042	235,002	14,983,972	405,337,912	1,646,355
売買損	△ 390,770,621	△ 2,803,262	△ 306,420,030	△ 4,802,916	△ 1,311,558	△ 571,210,724
(B) 信託報酬等	△ 8,785,803	△ 9,444,498	△ 8,631,345	△ 8,698,981	△ 9,183,178	△ 8,162,746
(C) 当期損益金(A+B)	△ 398,540,809	50,603,282	△ 314,816,373	1,482,075	394,843,176	△ 577,727,115
(D) 前期繰越損益金	△ 286,311,074	△ 682,519,430	△ 625,693,880	△ 937,712,890	△ 932,146,952	△ 533,648,024
(E) 追加信託差損益金	423,509,127	418,762,187	413,726,169	410,746,611	408,241,197	402,692,713
(配当等相当額)	(313,566,679)	(321,737,694)	(321,896,641)	(323,348,250)	(324,170,923)	(326,854,637)
(売買損益相当額)	(109,942,448)	(97,024,493)	(91,829,528)	(87,398,361)	(84,070,274)	(75,838,076)
(F) 計(C+D+E)	△ 261,342,756	△ 213,153,961	△ 526,784,084	△ 525,484,204	△ 129,062,579	△ 708,682,426
(G) 収益分配金	0	0	0	0	0	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 261,342,756	△ 213,153,961	△ 526,784,084	△ 525,484,204	△ 129,062,579	△ 708,682,426
追加信託差損益金	423,509,127	418,762,187	413,726,169	410,746,611	408,241,197	402,692,713
(配当等相当額)	(313,566,627)	(321,737,621)	(321,896,621)	(323,348,242)	(324,170,912)	(326,854,603)
(売買損益相当額)	(109,942,500)	(97,024,566)	(91,829,548)	(87,398,369)	(84,070,285)	(75,838,110)
分配準備積立金	514,270,123	512,518,634	507,472,034	505,962,656	503,755,634	500,328,141
繰越損益金	△1,199,122,006	△1,144,434,782	△1,447,982,287	△1,442,193,471	△1,041,059,410	△1,611,703,280

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

項 目	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
(a) 配当等収益(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	313,566,627円	321,737,621円	321,896,621円	323,348,242円	324,170,912円	326,854,603円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	514,270,123円	512,518,634円	507,472,034円	505,962,656円	503,755,634円	500,328,141円
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	827,836,750円	834,256,255円	829,368,655円	829,310,898円	827,926,546円	827,182,744円
(1万口当たり)	1,297円	1,297円	1,297円	1,297円	1,297円	1,297円
(f) 収益分配金額	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(1万口当たり)	0円	0円	0円	0円	0円	0円

○分配金のお知らせ

	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
1万口当たり分配金（税込み）	0円	0円	0円	0円	0円	0円

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年3月20日現在）

<シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド>

下記は、シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド全体（18,687,964千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘 柄	第16期末		第22期末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・リクイディティクラスI	1	1	0.121	16	0.0	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズクラスI	590,507	602,417	134,398	17,832,037	98.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	590,508	602,418	134,398	17,832,053	
銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<98.0%>		

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内は、このファンドが組入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

〈シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド 第2期〉

【計算期間 2021年9月22日から2022年9月20日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年9月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数※		投資信託 組入比率	純資産 総額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2021年5月25日	10,000	—	583,293	—	—	967
1期(2021年9月21日)	10,484	4.8	610,945	4.7	97.5	11,990
2期(2022年9月20日)	11,104	5.9	666,678	9.1	97.5	20,501

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万円当たり。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンサーです (*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		参 考 指 数*	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2021年 9月21日	円 10,484	% —		610,945	% —		97.5
9 月 末	10,585	1.0		616,497	0.9		98.0
10 月 末	11,296	7.7		664,968	8.8		97.6
11 月 末	11,253	7.3		653,586	7.0		97.2
12 月 末	11,729	11.9		687,606	12.5		97.9
2022年 1 月 末	10,757	2.6		646,715	5.9		98.2
2 月 末	10,797	3.0		643,232	5.3		98.6
3 月 末	12,218	16.5		714,334	16.9		98.3
4 月 末	12,387	18.2		717,697	17.5		98.8
5 月 末	11,155	6.4		675,330	10.5		98.2
6 月 末	11,084	5.7		656,998	7.5		98.0
7 月 末	11,244	7.2		685,326	12.2		97.5
8 月 末	11,356	8.3		670,068	9.7		97.6
(期 末) 2022年 9月20日	11,104	5.9		666,678	9.1		97.5

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 騰落率は期首比。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業*が本指数のライセンスラーです (*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンスラーに帰属しております。ライセンスラーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○運用経過

(2021年9月22日～2022年9月20日)

期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首(2021年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

○基準価額の主な変動要因

期首10,484円でスタートした基準価額は、11,104円で期末を迎え、期首比5.9%の上昇となりました。一方、参考指数であるFTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) は、9.1%の上昇で、当ファンドは、参考指数を3.2%下回りました。

当期、ファンドのリターンはプラスとなりました。国別では、カナダ、インドへの配分が上昇要因となった一方、主に米国、ドイツ、日本、英国への配分が下落要因となりました。セクター別では、鉄道、調査・コンサルティングサービスへの配分が上昇要因となった一方、主に不動産運営会社、住宅用リート、工業用リート、専門リート、オフィスリートへの配分が下落要因となりました。

投資環境

当期、世界の不動産株式およびリート市場は、下落しました。2021年年末にかけては新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株の確認で下落する場面も見られましたが、主要株価指数は最高値を更新するなど高値圏での推移となりました。2022年1月に入ると米国で債券利回りが大幅に上昇し、ハイテク株を中心に株価が下落、2月にはロシアによるウクライナ侵攻で値動きの大きな展開となりました。3月にはリスク回避の動きが一服し、株価は上昇しましたが、その後はウクライナ戦争に伴うインフレ圧力の継続、中国での新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）、サプライチェーンの混乱などを背景に5月中旬にかけて下落しました。6月月初にかけてはインフレ率の伸びの鈍化傾向が見られたことや中国のロックダウン解消のニュースを受けて上昇しましたが、7月中旬にかけて再び各国の中央銀行で積極的な金融引き締め観測が高まり、下落基調となりました。その後、経済減速懸念から米国長期金利が低下し、8月後半にかけて世界の不動産株式およびリート市場は堅調に推移しましたが、ジャクソンホールでのパウエル米FRB（連邦準備制度理事会）議長のタカ派的な発言を受け、金融引き締めが長引くとの警戒感から9月にかけて再び下落しました。

地域別では、インフレ圧力の継続を受けて金融引き締め観測が高まった米国、エネルギー不足の懸念が生じたドイツ、政治的不確実性や高いインフレ率、記録的な財政赤字が懸念される英国などを中心に下落しました。セクター別では、好業績を維持してきた専門リートのデータセンターや物流、貸倉庫、住宅用リートが全体的に調整したほか、金利上昇で不動産運営会社の株価が軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

2021年10月は経済活動の再開を受けてキャピタランド・インベストメント（シンガポールの各種不動産事業）、マーリン・プロパティーズ（スペインの各種リート）を新規購入し、好業績となった英国のビック・イエローや米国のスイッチを削減しました。11月は2銘柄が買収オファーを受け、アルストリア（ドイツのオフィスリート）を全売却、米国データセンターのコアサイトを一部売却し、売却資金でヘルスケア、データセンター、小売セクターの保有を増やしました。12月はコヤモ（フィンランドの不動産運営会社）、センター・グループ（オーストラリアの店舗用リート）、パブリック・ストレージ（米国の専門リート）を新規購入しました。2022年1月、2月は物流やアパートといった価格決定力があるサブセクターのポジションを維持しながら、企業価値の観点で相対的に割安な銘柄へ入替を実施しました。3月は物流セクターを減らし、ホテル・リゾートの保有を増加させました。4月、5月も割安な銘柄への入替を実施しました。6月は住宅関連銘柄を減らし、高い環境基準に準拠するオフィス物件を有する米国のキルロイ・リアルティ、ヘルスケアセクターで事業統合をすすめるウェルタワーを増加させました。7月はドイツの住宅セクターを減らし、日本のデベロッパーの保有を増加させた他、リース期間が短く早期の収入増加が期待されるホテルセクターを増加させました。8月は英国銘柄およびアパートメント銘柄を一部削減、データセンター銘柄を増加させ、生活必需品関連の店舗用リートを新規購入しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

○今後の運用方針

運用チームでは、マクロ経済データが弱含みで推移し、金利が緩やかに低下する可能性が意識されれば、ファンダメンタルズが意識され、価格決定力のある実物資産にとって強い追い風となる可能性があると考えています。米国では2022年第2四半期の決算発表の時期が終了し、概ね良好な結果となりました。70%の企業において業績が市場予想を上回り、22%が市場予想と同程度、8%が市場予想を下回りました。概して、企業はより高いレートで物件を再リースし、開発は適度に抑制され、バランスシートは健全な状態を維持しています。雇用とエネルギーにおける投入コストの上昇は、引き続き世界経済の主要な懸念材料です。これは金利の将来の方向性に影響を与え、投資先企業の資金調達コストにも直接影響を与えます。市場はインフレ抑制に必要な、大幅な利上げを警戒しています。運用チームでは、投資先企業が人件費やエネルギーコストの影響をほとんど受けず、賃料の実質的な上昇が続く可能性が高いと考えています。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいて独自のESG分析を利用しています。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2021年9月22日～2022年9月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・その他は、グローバルな取引主体識別子 (LEI : Legal Entity Identifier) 登録費用、金銭信託手数料等
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、11,321円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券 (投資証券等を含む) が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年9月22日～2022年9月20日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドグローバル・シテーズ クラスI	266,120	78,552	41,757	12,420

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2021年9月22日～2022年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年9月20日現在)

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)		当期末		
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドドル・リクイディティ クラスI	1	1	0.119	17	0.0
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドグローバル・シテーズ クラスI	366,144	590,507	139,550	19,994,759	97.5
合計	口数・金額	366,145	590,508	139,550	19,994,776	
	銘柄数<比率>	2	2	-	<97.5%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	19,994,776	97.3
コール・ローン等、その他	560,630	2.7
投資信託財産総額	20,555,406	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (19,994,776千円) の投資信託財産総額 (20,555,406千円) に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=143.28円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,555,406,538
コール・ローン等	560,629,829
投資証券(評価額)	19,994,776,709
(B) 負債	54,200,604
未払解約金	54,198,992
未払利息	1,612
(C) 純資産総額(A-B)	20,501,205,934
元本	18,462,789,915
次期繰越損益金	2,038,416,019
(D) 受益権総口数	18,462,789,915口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,104円

[元本増減]

期首元本額	11,437,371,558円
期中追加設定元本額	10,677,584,706円
期中一部解約元本額	3,652,166,349円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(資産成長型)	12,665,144,781円
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)	5,797,645,134円

○損益の状況

(2021年9月22日~2022年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 416,986
支払利息	△ 416,986
(B) 有価証券売買損益	717,561,851
売買益	5,501,437,239
売買損	△4,783,875,388
(C) 保管費用等	△ 54,686
(D) 当期損益金(A+B+C)	717,090,179
(E) 前期繰越損益金	553,079,684
(F) 追加信託差損益金	1,401,993,115
(G) 解約差損益金	△ 633,746,959
(H) 計(D+E+F+G)	2,038,416,019
次期繰越損益金(H)	2,038,416,019

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス I 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	投資運用会社がサステナブルな投資先であると考える世界の不動産関連株式および株式関連証券	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>投資運用会社がサステナブルな投資先であると考える世界の不動産関連株式および株式関連証券への投資を通じて元本成長とFTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み、米ドルベース）を中長期で上回る（費用控除後）収益確保を目指します。</p> <p>※ 欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファンドはアクティブ運用され、少なくともその資産の75%を強じんて革新的な都市やインフラストラクチャーに貢献するサステナブル投資に振り向けます。 ■ ファンドは投資運用会社のウェブページwww.schroders.com/en/lu/private-investor/gfciに掲げる「サステナビリティ情報」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。 ■ ファンドは投資運用会社の投資基準に定められた通り、環境や社会に重大な悪影響を与えず優れたガバナンスを実践する企業に投資します。 ■ ファンドはサステナビリティ慣行が合理的な期間内（典型的には2年以内）で改善すると投資運用会社が考える企業に投資することがあります。 ■ 投資運用会社はファンドが行なうサステナビリティ問題に関する弱点分野を特定する試みに対して投資対象企業と建設的な対話をすることもあります。投資運用会社のサステナビリティや投資対象会社との建設的な対話の方法に関する詳細は投資運用会社のウェブページwww.schroders.com/en/lu/private-investor/strategic-capabilities/sustainability/disclosuresで入手可能です。 ■ ファンドはその資産の2/3以上を世界の不動産関連株式および株式関連証券へ投資し、強固な都市インフラストラクチャーや開発計画支援体制により経済的成長を続けると投資運用会社が考える都市に投資する企業を中心に投資を行います。 ■ ファンドは純資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に世界の不動産関連株式や株式関連証券以外の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。 ■ リスクの抑制および資産の効率的な運用のためデリバティブ取引を行うことがあります。 	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2005年10月31日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

※保管会社は、2022年1月22日付でJ. P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイから変更されました。
 ※投資対象ファンドであるSISF グローバル・シティーズ クラス I 投資証券（ファンド）は持続可能な投資を行うという投資目的（欧州サステナブル投資開示規則9条：Article 9 SFDR）を有します。この投資目的を有するファンドは、その結果として一部の企業、業界、セクターに対するエクスポージャーが限られる可能性があり、サステナビリティ基準に合致しない一定の投資機会を見送ったり、特定の銘柄を処分する可能性があります。持続可能な投資を行うファンドは、類似の投資基準を適用しない他ファンドをアンダーパフォームする可能性があります。持続可能な投資の構成について投資者間で異なる見解を有する可能性があるため、ファンドは特定の投資者の信念および価値を反映しない企業にも投資する可能性があります。

シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズ
2021年12月31日現在の投資有価証券一覧表（監査済）

投資有価証券明細表

シュロージャー・インターナショナル・セレクション・ファンド・ グローバル・シティーズ				
投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (米ドル)	純資産構成比 (%)
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券および短期金融市場証券				
株式				
通信サービス				
Cellnex Telecom SA, Reg. S	EUR	184,086	10,654,528	1.17
Superloop Ltd.	AUD	2,509,245	2,168,661	0.24
			12,823,189	1.41
一般消費財				
PulteGroup, Inc.	USD	47,967	2,713,058	0.30
			2,713,058	0.30
工業				
A-Living Smart City Services Co. Ltd., Reg. S 'H'	HKD	132,750	226,715	0.02
Canadian Pacific Railway Ltd.	CAD	189,155	13,566,167	1.50
IBI Group, Inc.	CAD	214,216	2,283,852	0.25
			16,076,734	1.77
情報技術				
GDS Holdings Ltd., ADR	USD	93,070	4,360,541	0.48
NEXTDC Ltd.	AUD	864,460	8,033,234	0.88
Switch, Inc. 'A'	USD	520,031	14,869,794	1.64
			27,263,569	3.00
不動産				
Alexandria Real Estate Equities, Inc., REIT	USD	125,931	28,082,494	3.09
Allied Properties Real Estate Investment Trust	CAD	219,599	7,607,508	0.84
Big Yellow Group plc, REIT	GBP	445,244	10,265,746	1.13
Brookfield India Real Estate Trust, REIT, Reg. S	INR	1,042,579	4,164,529	0.46
Camden Property Trust, REIT	USD	146,586	26,101,507	2.87
Capitaland Investment Ltd.	SGD	1,973,400	5,009,320	0.55
Cousins Properties, Inc., REIT	USD	530,833	21,400,492	2.35
CRE Logistics REIT, Inc.	JPY	1,981	3,893,280	0.43
CubeSmart, REIT	USD	256,238	14,602,516	1.61
DiamondRock Hospitality Co., REIT	USD	762,716	7,307,160	0.80
Equinix, Inc., REIT	USD	49,151	41,537,431	4.57
Equity LifeStyle Properties, Inc., REIT	USD	83,364	7,259,802	0.80
Equity Residential, REIT	USD	207,865	18,804,108	2.07
ESR Cayman Ltd., Reg. S	HKD	1,532,000	5,181,037	0.57
Extra Space Storage, Inc., REIT	USD	96,808	21,821,976	2.40
Fabege AB	SEK	546,472	9,134,880	1.00
GLP J-Reit, REIT	JPY	6,598	11,404,316	1.25
Grand City Properties SA	EUR	331,577	7,855,170	0.86
Hang Lung Properties Ltd.	HKD	4,525,000	9,318,830	1.02
Healthcare Realty Trust, Inc., REIT	USD	468,468	14,951,025	1.64
Healthcare Trust of America, Inc., REIT 'A'	USD	148,224	5,001,249	0.55
Healthpeak Properties, Inc., REIT	USD	549,827	19,779,251	2.17
Hulic Co. Ltd.	JPY	246,100	2,337,290	0.26
Hulic Reit, Inc.	JPY	2,934	4,413,357	0.49
Hysan Development Co. Ltd.	HKD	867,000	2,681,580	0.29

投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (米ドル)	純資産構成比 (%)
Ingenia Communities Group, REIT	AUD	1,150,233	5,194,163	0.57
Instone Real Estate Group SE, Reg. S	EUR	426,606	8,038,802	0.88
Invitation Homes, Inc., REIT	USD	558,287	25,192,830	2.77
Japan Hotel REIT Investment Corp.	JPY	11,113	5,423,359	0.60
Kenedix Office Investment Corp., REIT	JPY	946	5,840,844	0.64
Kilroy Realty Corp., REIT	USD	118,507	7,911,014	0.87
Kimco Realty Corp., REIT	USD	778,281	19,057,151	2.09
Kojamo OYJ	EUR	227,122	5,464,626	0.60
LaSalle Logiport REIT	JPY	3,921	6,907,404	0.76
Merlin Properties Socimi SA, REIT	EUR	625,994	6,762,158	0.74
Mirvac Group, REIT	AUD	3,977,435	8,401,765	0.92
Mitsubishi Estate Co. Ltd.	JPY	1,023,981	14,187,923	1.56
Mitsui Fudosan Co. Ltd.	JPY	810,350	16,040,892	1.76
Nippon Prologis REIT, Inc.	JPY	2,722	9,625,792	1.06
Prologis, Inc., REIT	USD	346,141	58,092,518	6.40
Public Storage, REIT	USD	50,938	18,964,285	2.08
Regency Centers Corp., REIT	USD	118,505	8,853,077	0.97
Rexford Industrial Realty, Inc., REIT	USD	371,264	29,935,550	3.29
Scentre Group, REIT	AUD	4,894,824	11,231,733	1.23
Segro plc, REIT	GBP	804,952	15,618,327	1.72
Shaftesbury plc, REIT	GBP	692,355	5,751,258	0.63
Shurgard Self Storage SA	EUR	150,453	9,803,592	1.08
Sun Communities, Inc., REIT	USD	114,876	24,046,761	2.64
Sun Hung Kai Properties Ltd.	HKD	905,928	11,002,374	1.21
Sunstone Hotel Investors, Inc., REIT	USD	513,347	5,981,346	0.66
Terreno Realty Corp., REIT	USD	205,308	17,458,808	1.92
UDR, Inc., REIT	USD	588,289	35,193,756	3.87
UNITE Group plc (The), REIT	GBP	1,160,177	17,402,102	1.91
VGP NV	EUR	51,238	14,888,369	1.64
Vonovia SE	EUR	343,465	18,865,192	2.07
Washington Real Estate Investment Trust	USD	453,767	11,689,839	1.28
Welltower, Inc., REIT	USD	266,141	22,836,266	2.51
株式合計			791,579,730	87.00
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券 および短期金融市場証券の合計			850,456,280	93.48
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券 および短期金融市場証券				
株式				
不動産				
Federal Realty Investment Trust, REIT	USD	141,346	19,359,230	2.13
株式合計			19,359,230	2.13
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券 および短期金融市場証券の合計			19,359,230	2.13
投資総額			869,815,510	95.61
現金			36,605,795	4.02
その他資産/(負債)			3,305,040	0.37
純資産総額			909,726,345	100.00

外国為替先渡契約明細表

買い通貨	買建額	売り通貨	売建額	満期日	カウンター・ パーティ	未実現評価益/(損) (米ドル)	純資産構成比 (%)
シェアクラスごとのヘッジ							
BRL	59,718	USD	10,372	31/01/2022	HSBC	278	-
EUR	104,110,091	USD	118,157,181	31/01/2022	HSBC	78,468	0.01
USD	7	EUR	6	31/01/2022	HSBC	-	-
為替ヘッジ付きシェアクラスの純資産額における外国為替先渡契約に係る 未実現評価益 - 資産						78,746	0.01
外国為替先渡契約未実現評価益 - 資産合計						78,746	0.01
シェアクラスごとのヘッジ							
BRL	1,116	USD	200	31/01/2022	HSBC	-	-
USD	110	BRL	637	31/01/2022	HSBC	(3)	-
USD	2,771,386	EUR	2,454,852	31/01/2022	HSBC	(16,539)	-
為替ヘッジ付きシェアクラスの純資産額における外国為替先渡契約に係る 未実現評価損 - 負債						(16,542)	-
外国為替先渡契約未実現評価損 - 負債合計						(16,542)	-
外国為替先渡契約未実現評価益 - 資産の純変動						62,204	0.01

2021年12月31日現在の連結費用明細表および純資産変動計算書

	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・ グローバル・シティーズ (米ドル)
期首純資産価額	374,489,111
収益	
配当金収益、源泉徴収後	10,472,429
銀行利息	443
合計	10,472,872
費用	
運用報酬	3,635,415
管理報酬	793,188
年次税	198,394
保管料	40,413
販売手数料	227,498
銀行その他支払利息	2,200
営業費	128,686
合計	5,025,794
投資純利益(損失)	5,447,078
実現純利益/(損失) :	
投資の売却	42,180,348
外国為替先渡契約	(8,302,596)
外国為替	118,367
当期実現純利益/(損失)	33,996,119
未実現評価益/(損)の純変動額 :	
投資	73,116,688
外国為替先渡契約	(192,414)
外国為替	(36,910)
当期末実現評価益/(損)の純変動額	72,887,364
運用による純資産の増加/(減少)額	112,330,561
追加金	619,496,493
解約金	(195,881,517)
資本金の増減による純資産の増加/(減少)額	423,614,976
配当金	(708,303)
期末純資産価額	909,726,345

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&Pグローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮にされる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。 ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。</p> <p>■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

*保管会社は、2022年1月22日付でJ. P. モルガン・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイから変更されました。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋・翻訳したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ
2021年12月31日現在の投資有価証券一覧表（監査済）

投資有価証券明細表

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・ ドル・リクイディティ				
投資	通貨	株数/額面金額	評価額 (米ドル)	純資産構成比 (%)
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券および短期金融市場証券				
社債				
金融				
US Treasury 2.125% 15/05/2022	USD	30,000,000	30,213,281	8.19
US Treasury Bill 0% 24/02/2022	USD	6,500,000	6,499,730	1.76
			36,713,011	9.95
社債合計			36,713,011	9.95
公的取引所への上場承認を受けた譲渡可能証券および短期金融市場証券の合計			36,713,011	9.95
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券および短期金融市場証券				
社債				
金融				
US Treasury Bill 0% 04/01/2022	USD	30,000,000	30,000,033	8.13
US Treasury Bill 0% 13/01/2022	USD	30,200,000	30,200,052	8.18
US Treasury Bill 0% 27/01/2022	USD	19,500,000	19,499,724	5.29
US Treasury Bill 0% 17/02/2022	USD	6,000,000	5,999,738	1.63
US Treasury Bill 0% 10/03/2022	USD	26,300,000	26,297,951	7.13
US Treasury Bill 0% 17/02/2022	USD	1,700,000	1,699,792	0.46
US Treasury Bill 0% 10/03/2022	USD	300,000	299,952	0.08
			113,997,242	30.90
社債合計			113,997,242	30.90
コマーシャルペーパー				
金融				
Banco Santander SA 0% 04/04/2022	USD	19,500,000	19,486,558	5.28
Credit Agricole Corporate and Investment Bank 0% 16/06/2022	USD	24,000,000	23,970,942	6.50
DNB Bank ASA 0% 14/07/2022	USD	13,600,000	13,574,069	3.68
DNB Bank ASA 0% 10/11/2022	USD	14,250,000	14,186,487	3.85
Mizuho Bank Ltd. 0% 17/03/2022	USD	17,850,000	17,843,142	4.84
Nordea Bank AB 0% 22/02/2022	USD	24,000,000	23,997,174	6.49
Royal Bank of Canada 0% 21/03/2022	USD	24,000,000	23,989,707	6.50
Societe Generale SA 0% 03/01/2022	USD	19,000,000	18,999,889	5.15
Societe Generale SA 0% 11/08/2022	USD	9,800,000	9,774,382	2.65
Standard Chartered Bank 0% 21/01/2022	USD	15,000,000	14,998,731	4.07
			180,821,081	49.01
コマーシャルペーパー合計			180,821,081	49.01
その他の規制市場で取引される譲渡可能証券および短期金融市場証券の合計			294,818,323	79.91
投資総額			331,531,334	89.86
現金			36,773,462	9.97
その他資産/(負債)			630,725	0.17
純資産総額			368,935,521	100.00

2021年12月31日現在の連結費用明細表および純資産変動計算書

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド・ドル・リクイディティ (米ドル)	
期首純資産価額	492,660,002
収益	
投資による金利収益、源泉徴収後	545,528
銀行利息	39
合計	545,567
費用	
運用報酬	693,433
管理報酬	215,646
年次税	39,260
保管料	19,071
営業費	69,949
合計	1,037,359
投資純利益(損失)	(491,792)
実現純利益/(損失)：	
投資の売却	4,854
外国為替	(10,033)
当期実現純利益/(損失)	(5,179)
未実現評価益/(損)の純変動額：	
投資	(166,055)
外国為替	31
当期未実現評価益/(損)の純変動額	(166,024)
運用による純資産の増加/(減少)額	(662,995)
追加金	200,483,660
解約金	(323,545,146)
資本金の増減による純資産の増加/(減少)額	(123,061,486)
期末純資産価額	368,935,521